

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第5回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告事項（公開）

(1) 日帰り・宿泊温泉施設の今後の方向性の検討について

### ○自主的審議事項（非公開）

(1) 地域活動支援事業各団体との意見交換会の報告について（協議）

(2) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について（グループ討議）

## 3 開催日時

令和4年7月12日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

上越市審議会等の公開に関する条例第7条第4号に規定する意思形成過程に関する事項に該当するため

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・行政改革推進課：手塚課長、敷波係長
- ・施設経営管理室：高島主任
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：佐藤委員に依頼。
- ・本日の報告事項である、(1)日帰り・宿泊温浴施設の今後の方向性の検討について、行政改革推進課、施設経営管理室より説明を求める。

【手塚課長】

—資料No. 1、参考資料1、参考資料2に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【坂井委員】

- ・参考資料1の「適正配置計画の概要」内で、引き続き協議が8施設となっているが、資料右の表中には6施設しか記載されていないため、残りの2施設を加えない理由をお聞きしたい。また、同資料の「コロナ禍に伴う減収補填等による公費負担額の増加」表中で深山荘の数値がゼロと記載されていることや利用者1人当たりの公費負担額について、詳細の説明をお願いしたい。

【手塚課長】

- ・まず、引き続き協議としている8施設に対し、表中に6施設しか記載されていないことについて、残る2施設は、三和区の米本陣と名立区のろばた館である。米本陣に関しては、福祉施設への転用などについて、民間事業者と協議を進めたり、市民の皆さんと調整を行っている。また、名立区のろばた館に関しては、市直営の施設であり、以前から名立区地域協議会では施設の有効利用を図ることを目的に自主的審議事項として取り組んでいた。計画を策定する際、既にそのような動きはあったものの、最終的にどうするか未定であったことから、引き続き協議となっている。2月に地域協議

会から意見書の提出があり、現在、地域で利活用に向けて議論を進めている。この2施設については、このような動きがあることから今回のサウンディング調査の対象としていない。

**【坂井委員】**

- ・ろばた館のように、地域協議会で自主的審議事項として協議していけば民間需要調査は入らないということなのか。

**【手塚課長】**

- ・名立区に関しては10年程前から動きがあった。他区でも自主的審議事項として取り組んでいるところがあるが、基本的には方向性が決まっていない状態である。
- ・民間需要調査は、市場の状態や民間事業者の動向等を調査し、施設の今後の活用方向の検討を皆さんと行うにあたっての材料集めをしたいという考えで動きたいと思っている。
- ・また、公費負担額は、市が投入している負担額であり、施設を動かすために必要とする指定管理料や市の施設であることから維持修繕費等は市が支出しており、その合計額であることをご理解いただきたい。

**【坂井委員】**

- ・それに関しては、参考資料2に記載されているものを見れば良いのか。

**【敷波係長】**

- ・利用者1人当たりの公費負担額について補足させていただく。資料No. 1の「日帰り・宿泊温浴施設の現状」表中に記載のとおり、公費投入額が市の負担している費用となる。この公費投入額を利用者数で割った値を利用者1人当たりの公費負担額として表記している。こちらは、年度ごとに公費投入額から利用者数を割り返しているため、各年で1人当たりの公費負担額は変わってくる。資料No. 1では平成30年度と令和3年度を比較している。参考資料1でも同年度の比較に加え、引き続き協議としている6施設をお示ししている形となる。

**【手塚課長】**

- ・参考資料1の「コロナ禍に伴う減収補填等による公費負担額の増加」表中で深山荘の数値がゼロと記載されていることについて、新型コロナウイルスの発生を受け、市では指定管理者へ令和元年、令和2年に減収補填という形での補填を行い、令和3年は

指定管理料の額の見直しを行っている。ゼロという値については、補填等の公費負担がない状況を示しており、数字が記載されている箇所については、指定管理料に市として追加払いを行っている状況にある。

**【坂井委員】**

- ・深山荘に関しては、補填がなかったということか。

**【高島主任】**

- ・深山荘の減収補填の値がゼロと記載されていることについて、現在、指定管理者である(株)太平堂より冬期間の休館など経費削減策を徹底していただいているおかげもあり、追加で減収補填や指定管理料をお支払いすることがない状況となっている。

**【手塚課長】**

- ・補足させていただく。他の施設についても経費の節減を頑張らせていただいている一方で節減できない場合等もあることから、補填等が出る状況となっている。

**【飯田副会長】**

- ・質問を二つお願いしたい。利用者の1人当たりの公費負担額について、深山荘が他の施設より多いのは、どのような原因が考えられるのか。また、民間需要調査を実施されるとのことだが、(株)太平堂で指定管理を継続することが困難となったり、代わりに指定管理となる業者が名乗り出なかった場合は、市として廃止せざるを得ないのか。

**【手塚課長】**

- ・まず、公費負担額については、利用者数が少ないことにより利用者1人当たりの公費負担額が多くなっている。次に、今後、(株)太平堂で指定管理を継続することが困難となったり、民間需要調査を実施しても業者が見つからなかった場合の対応についてであるが、まずは、施設の有効活用に向けて今後協議を進めていくとしていることから、直ちに廃止することは現段階で考えていない。一方、運営する業者がいなくなった場合には、しばらくの間、休館となることも考えられるが、そのような状態に至らないよう知恵を出し合い、施設の有効活用の議論を進めたいと考えている。

**【小黒委員】**

- ・吉川区の施設が民営化する話を聞いたが、そのような話は出ているのか。

**【手塚課長】**

- ・よしかわ杜氏の郷のことだと思うが、こちらは、現在、プロポーザルという形で公募

を行っている。また、道路を挟んで反対側のゆったりの郷は、温浴やレストラン機能を持っているため、深山荘と同じく引き続き協議となっており、今後、民間需要調査を行っていく。

**【小黒委員】**

- ・杜氏の郷は、まだ、決まったわけではないのか。

**【手塚課長】**

- ・事業者は決定していない。また、本日説明している民間需要調査は、民間事業者等から知恵を借り、利活用の方法やどのような需要が市場にあるのかを探るものであり、方向性や譲渡先を決めるものではない。調査は年内に行い、年明けに皆さんへフィードバックして協議を進めていきたい。この件については、指定管理者である㈱太平堂にも事前に説明を行っている。

**【井上委員】**

- ・温浴施設や図書館など適正配置は様々だと思うが、今程の温浴施設の適正配置については、話の流れから収益性が主で、あとは人口減に対するものと捉えて良いのか。

**【手塚課長】**

- ・本来、適正配置についてはエリア単位での配置バランスの視点を持って必要性を検討しているが、今回の温浴施設の適正配置については、現状において地区で一つといったようなエリア概念は持ち合わせていない。

**【井上委員】**

- ・現時点での判断基準はどのようなものなのか。

**【手塚課長】**

- ・本日晒している公費負担や利用者数を基に施設の優劣をつけているわけではないことをご理解いただきたい。利用者数が減少していることを理由に機械的に廃止を進めていくということではない。地域の皆さんと話し合いの場を持ちながら議論を進めた上で、今後の方向性を決めていく。

**【飯田副会長】**

- ・私もそこが疑問である。行政の施設について、合併前に各市町村へ説明があったものの、合併によって人口が減少し、利用者や収益も少なくなってしまった。今程、手塚課長から説明があったように、廃止するために適正配置計画を進めているわけではな

く、地元住民と話し合いの場を持ったり、民間事業者からも知恵をお借りするとのことだが、最終的に行政の施設を利用者が少ないことを理由に廃止するのは無責任に感じるところもある。

**【手塚課長】**

- ・建物として形あるものなので、未来永劫存続させることは難しい。その中で、温浴施設として存続していくことは厳しいかもしれないが、違う形で中山間地域の振興に結び付くものに変えられないかについても皆さんと一緒に考えていきたい。先程申し上げたとおり機械的に廃止していくことではないというのはそういうことである。様々な情報を集める中で、どのようにすれば施設が地域の核となっていけるのかを皆さんから知恵を出していただき、進めることができれば最も良い。廃止を前提に市が動いているといった考えではないことをご理解いただきたい。施設に関しては、合併前に出来たものであり、地域の強い思い入れがあることは承知している。丁寧に接していきたいと思っているので、引き続き協議の場を持たせていただきたい。

**【西山会長】**

- ・他に質問、意見等がなかったため、報告事項について終了し、行政改革推進課、施設経営管理室からはここで退席していただく。

※自主的審議事項（非公開）

(1)地域活動支援事業各団体との意見交換会の報告について（協議）

(2)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について（グループ討議）

**【西山会長】**

- ・その他連絡事項について事務局より説明を求める。

**【田中主事】**

- ・高田地区地域協議会からの意見書提出について
- ・4区地域協議会委員合同研修の記録について

**【藤井班長】**

- ・令和4年度地区懇談会の開催について
- ・「まちづくり市民意見交換会」の開催について
- ・次回地域協議会の開催について、年間スケジュールどおり8月23日の火曜日、午後6時30分からとする。

**【西山会長】**

- ・意見を求めるが発言がなかったため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

**【飯田副会長】**

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : [maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。